

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)和泉市消防本部・和泉消防署	階数	地上3F
建設地	大阪府和泉市府中町	構造	RC造
用途地域	一種住居、近隣商業	平均居住人員	400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2024年7月11日
敷地面積	4,674 m ²	作成者	㈱アルト建築設計事務所
建築面積	1,424 m ²	確認日	2024年7月12日
延床面積	2,983 m ²	確認者	㈱アルト建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 77% (35 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 77% (35 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 77% (35 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

音環境	2.6
温熱環境	2.0
光・視環境	3.3
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

機能性	2.9
耐用性	3.8
対応性	3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.5
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

水資源	3.4
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

地球温暖化	3.9
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 ・室内環境、サービス性能への配慮。 ・敷地内外環境への配慮。 ・エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている。		その他 ・特に無し
Q1 室内環境 ・内装材はF☆☆☆☆を採用 ・条例により全館禁煙としている	Q2 サービス性能 ・バリアフリー基準を満たす・事務室天井高2.60m、窓設置・執務スペースの1%以上のリフレッシュスペースを確保・重要度係数1.5・節水型器具の採用・系統の分離、非常用水栓設置・設備耐震クラスS・基準階階高3.9m以上・1階壁長さ比率	Q3 室外環境(敷地内) ・緑地を設置
LR1 エネルギー ・BPI=0.72 ・BEIm=0.65	LR2 資源・マテリアル ・自動水栓に加え、節水型便器の採用・ビニル床シート(床材)、再生グラツラン(路盤材)・LGS下地に加え、FAFを採用・有害物質を含まない防水工事のプライマーを採用・ノンフロン断熱材を採用	LR3 敷地外環境 ・LCCO ₂ 排出率=75%・バイク置場、駐車場、消防車用車庫、出入り口4カ所設置・光害対策フェクリットの過半を満たす、広告物照明無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)和泉市消防本部・和泉消防署新築工事					
建設地		大阪府和泉市府中町					
用途/区分		事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				B+	
①	CO2削減	★★★★☆				4	
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★☆☆				2	
③	断熱性能	★★★★★				5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
④	エネルギー消費性能	★★★★★				5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外	評価対象外	4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.9	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					4.5	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							